

部局名	教育委員会	所属名	保健体育課	所属長名	三間 芳弘	電 話	483-1151 内線6160
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3492		事務事業名称	学校保健事業					短縮コード	経常	3492	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	教育基本法，学校教育法，学校保健法，結核予防法，学校給食法，八千代市学校保健・学校体育関係団体事業補助金交付要領							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
・昭和33年 教育基本法・学校保健法の施行により始まった。 ・児童生徒の各種健康診断検査委託，児童生徒の結核健康診断及び精密検査委託，就学時健康診断，教職員の各種健康診断検査委託，学校環境各種検査委託，通学路安全に係る学区再編に伴う交通指導員派遣委託・通学路立て看板設置・横断旗設置・自転車通学用ヘルメットの支給，学校給食センター受配校給食配膳員の配置・賃金支払，学校給食関係者に対する衛生管理指導，学校栄養職員対象各種講習会，市学校保健会及び市学校歯科医師会研修事業への補助金支給及び支援													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
・児童生徒を取り巻く家庭・地域・社会の大きな変容により疾病の多様化や法改正に対して速やかな対応が求められている。 ・児童生徒数が増加しており，今後ますます負担が大きくなる。						大項目（節）	01	学校教育					
						中 項 目	02	義務教育					
						小項目（施策）	03	健康・安全の確保					
						細 項 目	02	保健教育の充実					
03	学校安全教育の充実												
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市内公立小中学校児童生徒，教職員 ・市内公立小中学校 ・市内公立小中学校通学路									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 児童生徒の各種健康診断検査委託，児童生徒の結核健康診断及び精密検査委託，就学時健康診断，教職員の各種健康診断検査委託，学校環境各種検査委託，通学路安全に係る学区再編に伴う交通指導員派遣委託・通学路立て看板設置・横断旗設置・自転車通学用ヘルメットの支給，学校給食センター受配校給食配膳員の配置・賃金支払，学校給食関係者に対する衛生管理指導，学校栄養職員対象各種講習会，市学校保健会及び市学校歯科医師会研修事業への補助金支給及び支援									
	※平成20年度に計画していること： ・19年度と同じ									
意図 （何を狙っているのか）	・児童生徒・教職員の健康管理を充実させ，健康の保持増進及び健康教育 の充実を図る。 ・学校環境を充実させ，児童生徒及び教職員が快適に学校生活を過ごすことができる。 ・児童生徒の通学時における，安全を確保する。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	18年度	19年度		20年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	児童生徒，教職員数	人	16,056	16,750	16,382	16,337			
	指標 2	学校環境検査実施予定回数（32校延数）	回	128	132	132	132			
	指標 3	学校給食センター受配校児童生徒数	人	11,723	12,459	12,378	12,765			
活動指標	指標 1	児童生徒，教職員健康診断尿検査実施数	人	16,056	16,750	16,382	16,337			
	指標 2	学校環境検査実施回数（33校延数）	回	127	132	132	132			
	指標 3	学校給食センター受配校配膳員数	人	57	58	58	58			
成果指標	指標 1	児童生徒，教職員健康診断検査実施率	%	100	100	100	100			
	指標 2	学校環境検査実施率	%	99.2	100	100	100			
	指標 3	給食配膳員受け持ち人数	人	205.67	214.81	213.41	220.09			
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード	3492	事務事業名称	学校保健事業				所属名	保健体育課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			今後は, 現状のまま継続はするものの, 更に有効性及び効率性を追求して, 市民サービスの向上に努めていきたい。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			児童生徒の健康の保持増進に関する事業であるため, コスト, 成果とも不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・保護者・学校関係者・児童生徒は, 健康の保持増進について関心が高まっており, 児童生徒の体力の低下に関する問題解決に向けての要望が多い。 ・更に, 環境破壊問題との兼ね合いを含めた, 健康教育の充実に対する要望が多い。									

所属長コメント	本事業を通し, 児童生徒, 教職員に対する健康の保持増進を図り, 快適な学校環境の維持管理を行うことにより, 安全な学校教育が成り立っている。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり, 現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☒ 現状のまま継続									